

# 一般質問

(4名)

# Q & A



第1回定例会会期中の3月10日に4名の議員が登壇し、財政、教育、農業、環境問題等について質問。その要約について、掲載いたしました。



玉川 台俊 議員

**Q** 常北中建設について。18年3月議会の答弁は平成22年度完成であったが、12月の答弁では23年完成になった。早期完成が望まれ、広報もされている事業であり、遅れる理由を町民に説明すべきでは。

**A** 過去の経過の説明不足について町民に説明していく。

**Q** 学校給食について。食材高騰の対処は。食育、食の安全、地産地消の観点から米飯給食が望ましいが、推進の考えは。

**A** 1食250円の予算であるが、経過をみて不足分は補正を考える。米飯給食は理想であるが、供給体制の問題があり検討課題。

**Q** 指名入札について。いまもって不可解な指名がされている、職員は町長答弁の意図を理解していないのでは。

**A** 内部で再度再点検をし、透明性のある行政を進めていく。

**Q** CO<sub>2</sub>削減の取り組みについて。バイオマスタウン構想、バイオディーゼル燃料の導入を図る自治体があるが、町の取り組みは。

**A** 廃食用油は給食センター分を再利用、一般家庭の廃油は具体的な取り組みを検討し、廃棄物のリサイクル、再資源化、公用車の総排気量削減に取り組む。

**Q** 住民基本台帳カードの無料化は。今後の3年間は町が取り組めば、無料でカード発行が可能であるが。

**A** 運転免許証を持たない方の本人確認に利用できるのを検討する。



河原井 大介 議員

◎ 地域活性化対策について

◎ 観光PR対策は

A 本町には、特別な観光地はございません。山や川、農業、自然を生かしグリーンツーリズムも手段の一つであると思います。

◎ 公共施設等の活用について

A 総合野外活動施設活性化方策検討委員会を設置し、委員会の結果を参考にしながら、ふれあいの里、うぐいすの里、山びこの郷の特徴を生かせるよう今後の方向性について考えてまいります。

◎ 本町のフィルムコミッションへの取り組みは

A 町がロケ地になるということは、やはり地域のイメージアップ、好感度は非常に大事であり、積極的に知名度アップにつなげることを含めて進めてまいりたい。

◎ 合併をしても町に活気がないと声を聞くが「農業」「観光」「教育」の連携によって活性化に取り組む他市町村が多い中で本町も積極的に取り組む課題として縦割り行政との認識を変える各課横断型の地域活性化プロジェクトチーム又、地域活性化課（仮称）を新設し、幅広い議論をする場を作ってはどうか

◎ 各課横断的な地域活性化の課を新設することは、考えていない。縦割りの行政体制にならないように、やっていきたい。

A 各課横断的な地域活性化の課を新設することは、考えていない。縦割りの行政体制にならないように、やっていきたい。



三村由利子 議員

◎ ゴミの不法投棄について

◎ 増え続けるゴミの不法投棄対策はどうあるのか

A クリーン作戦や町でも回収しているが、苦慮している。

◎ ボランティア・UD監視員関係機関と連携するとあるが成果は

A 県の委嘱なので、内容の報告をうけていない。

◎ 不法投棄に対する更なる積極的な対策を検討すべきでは

A 人間のモラルの問題である。

◎ 学校給食について

◎ 米飯給食の米が常北・桂・七会地区が三者三様であり、米の一元化を図るべきと思うが。

A 町が特別に乗せした分は、20年度までにして、21年度より町内の米に統一することを検討する。

◎ 諸物価の高騰で給食費の値上げは検討しているが、滞納整理に甘さがあるのでは

A 責任のない子供を、親がどうカバーするのか働きかけながらも一方で法的面の取り組みを強化するよう努める。

A ゴミの不法投棄に対し、パトロールを強化することと防止意識の普及並びに学校給食では町内米飯、献立の統一に努力されることを切望します。